

2011年4月18日

日本繊維産業連盟
会長 下村 彬一

東日本大震災にかかる被害状況と支援について

この度の東日本大震災において被災されました方々に、心よりお見舞い申し上げます。

繊維産連および加盟各団体では、被災者・避難者への可能な支援を惜しまず、被災地の一日も早い復興のため、引き続き、業界一丸となって取り組んで参ります。

繊維産連加盟の各団体における被災状況としては、工場・事務所・倉庫・資材の損壊・流出、設備損傷・燃料不足による生産停止など、事業活動の継続にはほど遠い業界も多く、回復には相当の期間と費用を要する見込みです。地震・津波による直接の被災の他、物流の途絶による配送不能とそれに伴う発注キャンセル、原子力発電所の事故に関連した風評被害による出荷・輸出の停止など、間接的にも被害は拡がりつつあります。

また、従業者の生活が依然として不安定なことや、外国人技能実習生を受け入れている業界では、この度の震災および福島原発事故を理由として実習生が自国に引き上げるなど、人的資源についても事業継続に多大な影響を被っております。更に、原子力発電所近傍からの避難や電力供給不足など、業界の努力では制御できない大規模な問題が存在しています。

被災地および周辺地域では、国・地方自治体をはじめとして懸命の復旧・復興活動が行われており、また、既に中小企業向け緊急融資など一部の特別措置が講じられております。上に述べた状況については、既に今月4日に経済産業大臣に報告し、業界要望をお届けしておりますが、国・各省庁による一層のご支援をお願いしたいと思います。

今回の震災に際して、繊維産連加盟の各団体からは、衣類・マスク・毛布をはじめとする物資の提供と、義捐金・寄付金の拠出など、被災者への支援を実施しております。

また、海外の繊維業界からも、温かいお見舞いの言葉とともに、救援物資をご提供頂きました。韓国繊維産業联合会から毛布2000枚、タイ国繊維産業連盟から毛布100枚のご提供があり、神奈川県および在日本大韓民国民団中央本部を通じて、被災地に配送いたしました。この場を借りて、改めて両団体のご厚情に心から御礼申し上げます。

繊維産連では、今後も関係各方面と協力しながら、被災地の復興と事業活動の正常化に向けて努力して参ります。関係諸団体・各業界のご支援・ご協力を宜しくお願いいたします。

以上